

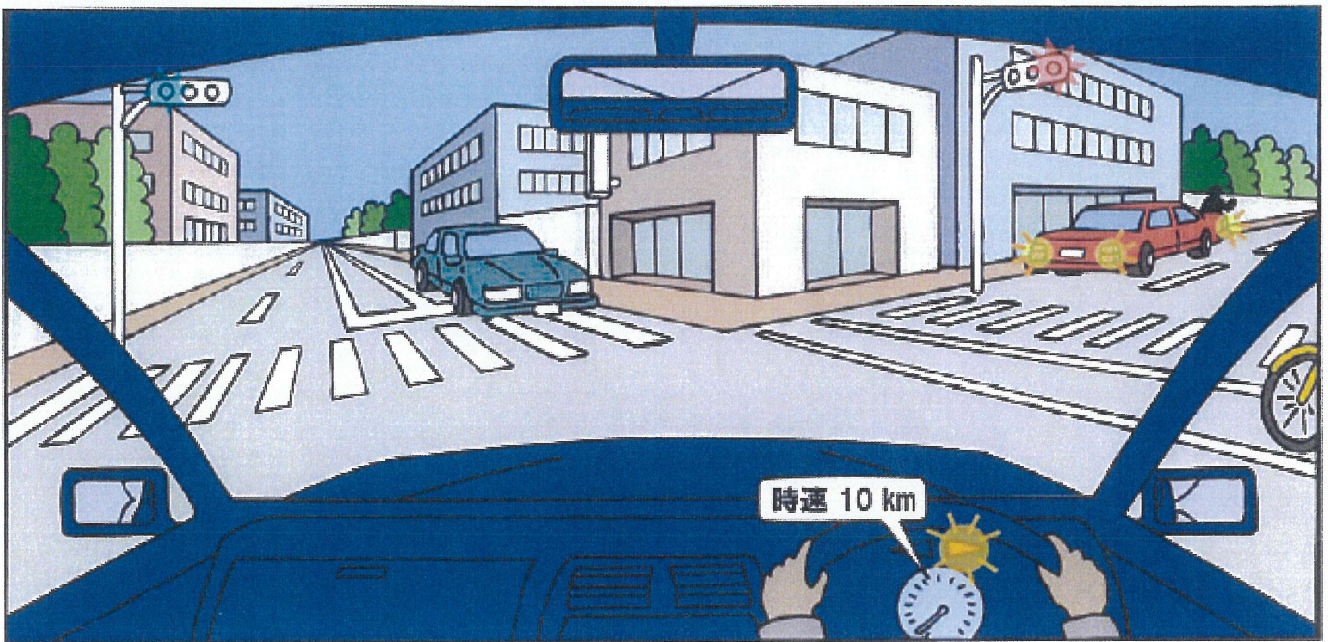
『自動車保険』 掛け方ガイド vol. 13 関連知識編③

危険予知トレーニング I

今回からは皆様と共に自動車運転中に潜む『危険』について考えてみましょう。

事例① 下記の状況から考えられる危険を列挙してみましょう。このページの後半部分に主な危険要因の例と、安全運転のポイントを掲載していますが、まずは皆様でも一度考えてみて下さい。

交差点の右折



【交通場面の状況等】

・制限速度：時速60キロ ・路面：乾燥 ・天候：晴 ・運転者：48歳 ・運転歴：25年

【主な危険要因】

- ①対向車が交差点に接近しており、このまま右折していくと衝突する危険がある。
- ②横断歩道の右側から自転車が渡ろうとしており、このまま右折していくと衝突する危険がある。
- ③右折していく道路の先の駐車車両の陰に歩行者が見えるが、この歩行者が横断してくるとはねる危険がある。

など、これ以外にもいろいろと危険を想定なさったと思います。こういった危険を踏まえて下記にこの状況での安全運転のポイントをまとめてみました。

- ①対向車が接近しているときは右折せずに、対向車の通過を待ち、安全が確認されてから右折する。
- ②右折をしていくときは、横断歩道の状況だけでなく横断歩道の先の状況にも注意しながら、いつでも停止できる速度で進行する。

今回の危険予知、そして危険回避のポイントは皆様にとって当たり前のことかもしれませんが、常に初心を忘れることなく安全運転に心掛け幸せな日々を過ごしましょう。